



ウィークエンド マックスマラーは、アメリカ人アーティストのリチャード・サヤとタッグを組み、伝説的なロイヤル・アスコットレース（英国王室主催の競馬）にインスパイアされた刺繍アイテムからなる最新のシグネチャー・コレクション「トロフィー・デイ」を発表します。毎年注目を集める乗馬スポーツイベントであり、最高のフォーマル デイウェアが集結する華やかなパレード。ロイヤル・アスコットは、ウィークエンド マックスマラーとサヤのコラボレーションにふさわしいテーマです。

リチャード・サヤは歴史的なテキスタイルに非常に繊細な刺繍を施すことで知られています。ニューヨーク、パリ、ロンドン、ベルリン、そして韓国の国立刺繍博物館など各国で作品を発表しているサヤ。彼は、17世紀フランス国内の典型的な田園風景をプリントした伝統的テキスタイルであるトルド・ジュイを、遠慮なく奇妙なシーンへと巧みに変化させること、彼の言葉では“おもしろみを加えること”、を得意としています。

今回のシグネチャー・コレクションでサヤは、卓越した刺繍の技術を駆使し、ウィークエンド マックスマラーのためにシルクとコットンのトルド・ジュイを飾り立てました。ロイヤル・アスコットのドレスコードに忠実に沿った「トロフィー・デイ」コレクションは、レース当日にも着用できるようデザインされた数々のアイテムが主役です。各アイテムにはユニークな配色の刺繍がそれぞれに異なる箇所に施されます。クラシックなテキスタイルに対するサヤの意表を突くアプローチは、17世紀スタイルの馬と騎手をカラフルに装飾することにフォーカスしています。

コレクションは、ネイビー、ライトブルー、アイボリー、ホワイト、オレンジといったカラーパレットで彩られた 10 アイテム。シルクオーガンジーの膝丈のオーバーコートや、ボリュームスリーブが特徴のコットンピケのブラウス、裾がわずかにキックフレアになったコットンのクロップドパンツ、コットンポプリンのシャツなど。さらに、膝丈のノースリーブドレスは、コットンファイユの 50's シルエットと、背中が大きく開いたコットンサテンの A ラインシルエットの 2 種類を展開。クリーンなラインが印象的なクロップド丈のオーガンザボレロは刺繍を加えずに仕上げました。そして、カラフルな刺繍が施されたウィークエンド マックスマラーのアイコンバッグ“パスティチーノ”と、スリッパタイプのシューズがコレクションを完成させます。

「トロフィー・デイ」コレクションは 6 月中旬、ロイヤル・アスコットのスタイルガイドサポーターであるフェンウィック・ロンドンのボンドストリート店にて、エクスクルーシブなウィンドーディスプレイを皮切りに発売をスタートします。その後、各国のウィークエンド マックスマラーで販売されます。